



# 令和2年度 大賀茂小学校グランドデザイン

## 児童の実態

- ・異学年の仲がよい。
- ・素直で明るい子、子供らしい前向きで真面目な子が多いが、自ら考え行動する力は弱い。
- ・地域の方、来校者(お客様)に進んであいさつできる。
- ・学習に前向きに取り組む子が多いが、表現力に課題がある。
- ・心優しい反面、精神的に弱さを感じられる子がいる。打たれ弱い。
- ・思いを表現したり伝え合ったりする力が育ちつつある。
- ・地域に親しみを感じている子が多い。

## 保護者・地域の実態

- ・保護者が協力的である。
- ・学校と地域との結びつきが強い。

## 施策

### 静岡県

#### 「有徳の人づくり」

- 1 自らの資質・能力を伸長し、個人として自立した人
- 2 多様な生き方や価値観を認め、人との関わり合いを大切にする人
- 3 社会の一員として よりよい社会づくりに参画し、行動する人

### 下田市

#### 開国のまちから 夢をつなぐ「未来の人づくり」「自ら学ぶ人づくり」

自分のまちや学校、自分自身に誇りの持てる子どもの育成

重点目標：自分らしさを発揮し、安心して学べる学校づくり

## 学校教育目標

# 自律し、自立できる子

合い言葉：いい顔・いい声・いい動き

## 学校経営目標

- ・基本的な学習習慣を身につけ、関わり合いながら高めあえる子の育成
- ・自らの判断で行動し、認め励ましあえる子の育成
- ・心身ともに健康でたくましく失敗を恐れずチャレンジする子の育成

## 大賀茂小の児童のよさを伸ばすために（前年度の評価から）

◎自ら考えて行動できる子を育てたい⇒自律し、自立できる子へ

- こんな視点で  
取り組みたい
- ・要求を高く設定してみる
  - ・目的意識を持たせる
  - ・方法を教えて経験を積ませる
  - ・困らせる（考えさせる）場面も必要
  - ・子供に任せる部分は任せる（どの活動のどの部分で可能か考えていく）
  - ・自分たちで進めていく楽しさや充実感を味わわせる。

## 学校が楽しい

# 100%



## 基本的な学習習慣を身につけ、関わり合いながら高めあえる子〈知〉

- ①「分かる授業」「できたと思える授業」（授業が分かる 全学年 95%以上）  
※授業のユニバーサルデザイン ※ICTの活用
- ②児童の実態から出発し、一人ひとりを大切に授業（対話を意識した学び合い）  
※学び手の視点で授業をつくる  
※学習形態の工夫
- ③総合的な学習の時間の充実  
※横断的な学習を意識する
- ④学習の習慣化  
※読書 ※音読会 ※朝学習  
※放課後勉強クラブ

## 自らの判断で行動し、認め励ましあえる子〈徳〉

- ①児童一人ひとりが所属感を持ち、互いの良さを認めあえる学校・学級作り（友達と仲良くできる 95%以上）
- ②体験的活動・地域活動参加による社会性の育成  
※地域の特色を活かした体験（稲作、柿狩り）  
※下田市体験プログラムの有効活用（宿泊体験、ジオ学習、地域探検等）
- ③安全指導を充実し判断力の熟成  
※地区児童会の活用  
※自ら考え判断する安全指導の実施

## 心身ともに健康でたくましく失敗を恐れずチャレンジする子〈体〉

- ①苦しいことから逃げず、共に高め合う雰囲気作り（丈夫な体作りに励む 100%）
- ②行事などを通し、失敗を恐れなくて挑戦する態度を育てる場の設定
- ③健康や成長について正しく考える機会の設定  
※養護教諭の授業参加、測定時のミニ講話等（病欠0の日 150日以上）
- ④特別支援教育の充実  
※SC、SSW、外部機関や人材等との連携システム構築  
※ユニバーサルデザインを意識した環境

## 家庭

- 基本的な生活・学習習慣の定着
- 自己肯定感の育成
- 家族としての役割意識・規範意識の熟成
- 家庭読書の充実・強化
- PTA活動等での縦と横のつながりの強化

## 評価・検証

学校評価（児童・保護者・教職員アンケート）→学校評価会議→学校評議員会→情報発信

教職員人事評価（学校経営目標に合わせた自己目標設定、手立て、面談など）

## 地域

- 地域人材の活用  
・ゲストティーチャー、協力員、どんぐりの詩
- 家庭地域と連携した安全、防災教育の強化  
※地域防災訓練への参加・防災情報共有
- 学校間（幼児こ、小小、小中）の連携
- 朝日地区育成会との連携

## 教師の姿<子供とともに学び続ける教師>

- ①子供への教育的愛情と教育に対する使命感を持つ。
- ②日々の生活の質や教職人生を豊かにし、広く豊かな教養を身に付ける。
- ③学習指導に関する専門的知識を持ち、子供に確かな学力を育む。
- ④子供に対する理解を深め、健やかな成長を支援する。
- ⑤職員、保護者、地域の人々と協力し合い、多様な課題に柔軟に対応する。

## 校内研修テーマ

「学びを生かして主体的に学ぶ子」

